

報道関係 各位

2021年10月30日
株式会社日本レースプロモーション

10月30日(土)
2021年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第7戦 第20回 JAF 鈴鹿グランプリ
予選速報

松下 信治が自身初のポール・ポジションを獲得！

国内レースの最高峰、2021年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第7戦 第20回 JAF 鈴鹿グランプリの予選が10月30日(土)、三重県鈴鹿サーキットで行われ、松下 信治(ビーマックス レーシング チーム)が自身初のポール・ポジションを獲得した。

抜けるような青空が広がる午後1時50分に始まった予選は、ディフェンディング・チャンピオンの山本 尚貴(ティーシーエス・ナカジマレーシング)がQ1で脱落するという波乱のスタート。前大会でチャンピオンを決めた野尻智紀(チーム・ムゲン)以外、若手が名を連ねたQ3では、最初にアタックに入った松下 信治がスーパーラップを披露し、後続のドライバーにタイムを書き換えられることなく、そのままチェッカー。松下が自身初のポール・ポジションを獲得した。2番手には、大湯 都史樹(ティーシーエス・ナカジマレーシング)、3番手には、福住 仁嶺(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)が入った。

ルーキー・オブ・ザ・イヤーのタイトルがかかる宮田 莉朋(クオ バンテリン チーム トムス)は6番手、大津 弘樹(レッドブル ムゲン チームゴウ)は7番手、ルーキーランキングトップの阪口 晴南(ピーエムユーセルインギング)はQ3に進出できず12番手、ジュリアーノ・アレジ(クオ バンテリン チーム トムス)は13番手グリッドからスタートすることとなった。

決勝レースは、明日10月31日(日)14時00分スタート予定。

*記録の詳細は、公式ウェブサイトでご確認ください。



自身初のポール・ポジションを獲得した松下 信治